

G空間×ICT北陸まちづくりトライアルコンクールの各部門のイメージ

○募集部門Ⅰ、Ⅱ、Ⅲは、総務省が平成25年6月28日に公表した「G空間×ICT推進会議」報告書に記載の「共創型元気経済社会」、「共助型安心安全社会」、「共生型地域活力社会」を各部門としています。

<p>コンクール募集部門</p>	<p>「G空間×ICT推進会議」報告書 抜粋 ()は報告書の頁</p>
<p>部門Ⅰ：「元気な経済／便利な暮らし賞」部門</p>	<p>「共創型元気経済社会」(G空間×ICTで、「元気な経済、便利な暮らし」を実現) (イメージ) (P19)</p> <p>○図表2-2 「共創型元気経済社会」(G空間×ICTで、「元気な経済、便利な暮らし」を実現(イメージ))</p> <p>○「1分の1」の投影型高精細デパート3D地図により、自宅にいながら、バーチャル・ショッピング。 ○あらゆるモノが位置情報を測位・発信し、屋内でも屋外でも、どこに何があるか常時把握。オンラインショッピングで購入した商品の配送時、交通状況をもリアルタイムで計算し、注文した商品の到着時間を詳細に予測。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>小売・流通(O2O)</p> <ul style="list-style-type: none"> CRMの高度化 <ul style="list-style-type: none"> 店舗情報の即時提供 デジタルクーポン チェックアウトポイント 顧客情報の活用によるマーケティング GISマーケティング <ul style="list-style-type: none"> 商圏・市場分析の可視化 売上予測、販促促進手段 店舗配置計画、広告計画 <p>顧客の位置・行動情報の共有による連携</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>物流業、運輸業</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動倉庫/リ・シヤン <ul style="list-style-type: none"> 荷物の入出荷状況、庫内・在庫情報の見える化 仕分け・パレタイズの自動化 在庫管理・分析 輸送の効率化 <ul style="list-style-type: none"> プロ・ナビ情報活用による迂回や配送経路の最適化 無人走行の実用化 輸送状況の監視(ドレ・リビデテ)の普及 <ul style="list-style-type: none"> タイムスランパ付きのドレング 産地や輸送状況の保証 <p>荷物位置と車両位置情報の共有による連携</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>交通：次世代ITS</p> <ul style="list-style-type: none"> 危険検知・自動制御 <ul style="list-style-type: none"> 運転者への警告 介入による危険回避 EV充電ステーションの検索・T・Tルート案内 プロ・ナビ情報 <ul style="list-style-type: none"> ドヤリハット検知(急ブレーキ減速地点等) 運転者への周知 適切な道路改修計画への利用 レーン別混雑情報 <p>車、人などの位置情報の共有による連携</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>M2M(機械装備、産業ロボット)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動搬上(建設) 無人機による自動建設 <ul style="list-style-type: none"> 建機の自動走行 作業進捗状況の管理 ヘリコプター エリア監視 <ul style="list-style-type: none"> IMVによる監視 空域監視 <p>不審者、建機等の位置情報の共有による連携</p> </div> </div>
<p>部門Ⅱ：「安心・安全な社会賞」部門</p>	<p>「共助型安心安全社会」(G空間×ICTで、「安心安全な社会」を実現) (イメージ) (P19)</p> <p>○図表2-3 「共助型安心安全社会」(G空間×ICTで、「安心安全な社会」を実現) (イメージ))</p> <p>○社会インフラ管理や防災にG空間情報を活用することにより、フル・レジリエントな安心安全な社会が実現。 ○行政と住民がG空間情報を介してつながり、住民が役所に出向くことなく、その時、その場所に応じた行政サービスが提供。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災システムの普及 <ul style="list-style-type: none"> 3D地図・様々なG空間情報を活用した高度シミュレーションシステム 被害状況や避難経路のリアルタイム更新を基に、緊急の被害を早期に検知する監視・対策へ。 空域監視 <ul style="list-style-type: none"> 市民、施設等の位置・被害情報の共有による連携 </div> <div style="width: 50%;"> <p>社会インフラ整備</p> <ul style="list-style-type: none"> G空間によるインフラ管理 <ul style="list-style-type: none"> M2Mソリューションやドッグアースとの連携を通じて、インフラインテグレーションによるインフラ管理。 各種監視 <ul style="list-style-type: none"> 社会インフラの位置・状況情報の共有による連携 </div> <div style="width: 100%; text-align: center;"> <p>行政サービスの高度化</p> <p>行政情報の電子化・相互連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 従来の紙が中心で完全に電子化されてきたから電光石火でクラウド管理。 電子化された行政情報は、共通の検索や住民表示等)を介して連携。 <p>オー・オン・アッシュ時代の行政ロードス</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの住民が、それぞれの状況、場所に応じて、ロードスを学ぶ。 </div> <div style="width: 50%;"> <p>現状課題</p> <p>市民、資産(個人・公共)の位置情報の共有による連携</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>現状課題</p> </div> </div>

部門Ⅲ：「活力ある地域賞」部門

「共生型地域活力社会」(G空間×ICTで、「活力ある地域社会」を実現)(イメージ①②) (P20)

○図表2-4 「共生型地域活力社会」(G空間×ICTで、「活力ある地域」を実現)(イメージ①)

- cm単位の段差も把握した3D屋内外地図により、車いすの方や高齢者を安全に目的地まで自動誘導。
- 高齢者や子供たちをシームレスに見守り、安全な地域コミュニティを実現。



○図表2-5 「共生型地域活力社会」(G空間×ICTで、「活力ある地域」を実現)(イメージ②)

- 圃場のm単位の土壌状況や作物生育状況、周辺の気候情報等がマッシュアップされた3D高精度空間地図を用いて、AI農耕機が、m単位で耕作の強度を変化させる等、超高性能農業を実現。
- 海底面の高精度測位を常時行い、平時は資源探査、災害時は津波の到着場所・時間を瞬時に予測。



(総務省報道発表)

平成 25 年 6 月 28 日 「G 空間×ICT 推進会議」 報告書の公表

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin01_02000105.html

○更に、次ページも参考に、北陸3県において、G空間情報(地理空間情報)やICT(情報通信技術)を活用した街づくりのユニークなアイデアの応募をお待ちしています。

G空間情報！

「G空間情報(地理空間情報)」とは、位置や場所に関連づけられている情報のこと。例えば、人車がどこにいるか、災害や事故がどこで起こっているかという情報のこと。これまではG空間情報は大量に生成されているが、多くは十分に利用できていなかった。

例えば、地図情報、自治体が保有する地図関連情報(例:道路工事情報、公衆トイレの位置などの情報)、豪雨等の気象情報など様々な情報がある。

ICTの動向！

G空間情報をだれもがどこでも使うには、ICT(情報通信技術)の活用が不可欠である。G空間情報の取得や伝達等に関係の深いセンサー及びスマートフォン、G空間情報の管理や分析に関係の深いクラウド・サービス及びビッグデータ技術等のICTの果たす役割が重要である。

例えば、身近なICTには、スマートフォンの他にカーナビ、ドライブレコーダー、GPSなどがある。



G空間活用でカーナビの高度化が期待できます。



北陸のまちづくりは
君たちの手で！



スマートフォン普及で世界の情報が集まりGPS機能によりビッグデータへの応用が期待できます。



G空間活用で効率的な土地利用が期待できます。



G空間活用で防災の更なる強化が期待できます。



貴重な文化財をG空間活用による保護や観光資源に！



駅などをG空間活用による新しい交流拠点に！



豊かな自然をG空間活用による保全や資源開発に！